

水仙の花も咲き始めいよいよ冬も本格的になってきました。

十二月はお誕生会、クリスマス、餅つきと行事が続きました。

入居者の皆様それぞれ、ケーキ作りやお餅を丸めたりと季節の行事を楽しんでいただきました。ケーキ飾りの盛り付け、割烹着を着てお餅を丸める手つき、それぞれ手際よく見事にして下さいました。

今年は入居者様に永眠された方が居られました。瀬戸内海の島で育ち大勢の弟や妹の親代わりになり、ご兄弟から慕われている方、肱川の畔で生まれのびのびと育ち道後のホテルで長年働き同僚の方々から親しまれていた方です。

どちらの方もその方らしい穏やかな旅立ちでした。お元気な頃のお話をお聞きして、お幸せに暮らされて来られたといつもお聞かせいただいております。

高齢者の方々には今一瞬の大切さを教えていただきました。これからも今を大切に努めたいと思います。

また新しい変異ウイルスが出て来て流行が心配です。これまで通りの感染対策を続けて、インフルエンザのワクチンなどもして備えたいと思います。平穏な日々が早く戻ってくるように御祈りしております。

